学会　Summary　３００字以内

　高速道路や一般道における無謀な運転によってほかの車両に対して危険を生じさせる危険行為が問題となっている.危険行為を行う車両を事前に知ることができれば,多くの事故を減らすことができる可能性がある.本研究では,速度超過車両の検出に焦点を当てる.現在多くの道路では,カメラや速度センサを用いた速度違反車両の監視を行っている.しかしこの方法では,観測地点でのみ速度を落とすことで,検知されずに速度超過を行うことができる.そこで,VANETを用いた（観測地点を選ばない）速度超過検知手法を提案する.既存の方式では冗長なブロードキャストが多い問題が見られた.本研究では,既存方式と比べて大幅にパケット数を減らすことができた.